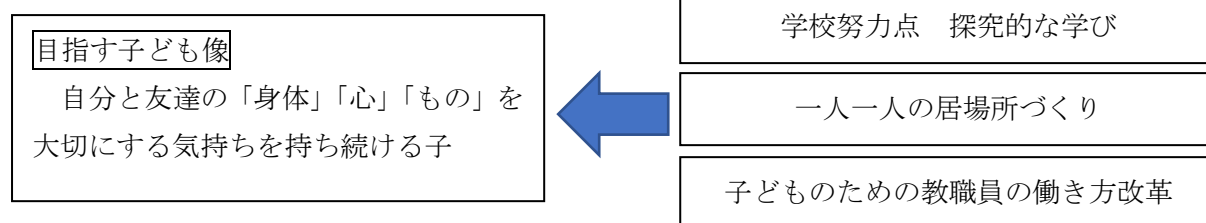


I 学校教育目標

「笑顔いっぱい 自分らしく輝く 高針っ子の育成」



II 本年度学校教育の努力点とその推進計画

本年度のテーマ

「やってみたい」という思いをもち、主体的に探究する子どもの育成
— ふれる・問いをもつ場面を中心に—

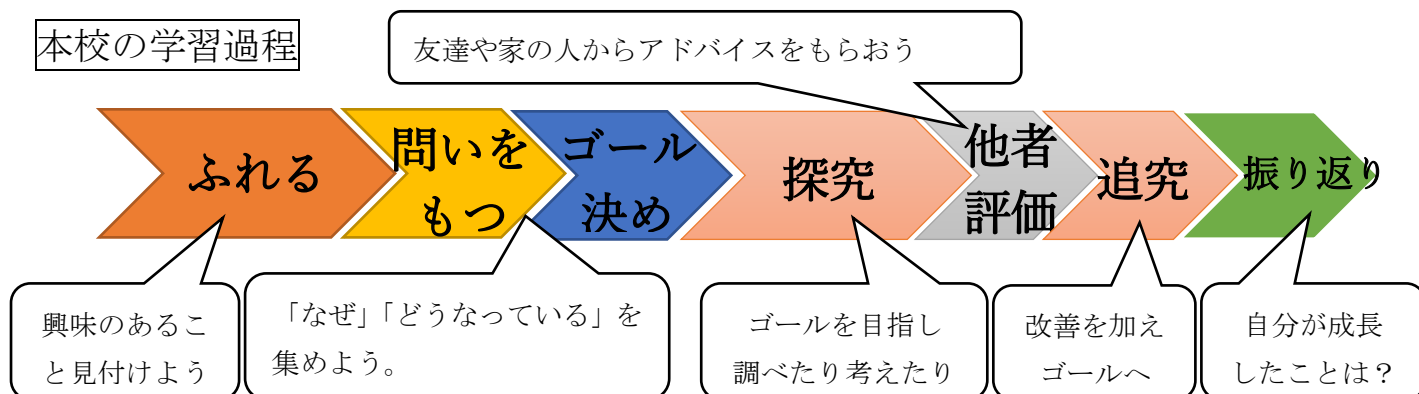
1 ねらい

本校では、昨年度、「自ら課題を見付け、自分の意志で学習に取り組む子の育成」を研究テーマに、努力点推進を行ってきた。様々な知識や情報から課題になりそうなことを見付け、課題解決に向かうことができた。しかし、課題を決定していくときに「何となく決めた」というように自分の思いや理由がはっきりとしていない子どもがいた。その原因として子どもたちの中に考えがあっても、子どもたちが自ら「やってみたい」という思いをもっていなかったためではないかと考える。そこで今年度は、「やってみたい」という思いをもたせるために、どう教師が伴走をしていくかを研究する。子どもが「やってみたい」という思いをもつためには、身近なものや人と触れ、様々な体験をすることで子どもの興味を引き出し、「なぜ？」という問いをもつことができると考える。具体的には各学年の発達段階に合わせ、高針小学校の地域素材を基に下に示すプロジェクト型学習の流れを生活科、総合的な学習の時間に取り入れていく。そうすることで、子どもたちが必然性をもって問いを見付け、探究していく姿が見られると考える。

「なごや学びのコンパス」の内容を踏まえ、これまで築いてきた「自ら課題を見付ける」指導法を礎にして、PBLを基にしたプロジェクト型学習を推し進め、児童の主体的に探究する姿を引き出していきたい。

【プロジェクト型学習とは】

必要に応じて多様な学習形態をとり、子どもの自己選択・自己決定に基づいて進める学習



【今年度の研究の重点】

生活科・総合的な学習の時間において、プロジェクト型学習を行う時間を「たかばり探究タイム」と称して学習展開を工夫する。その中で、児童が様々な知識や情報にふれ、問いを見付けられるようにする。

- 発達段階に合わせた「知識や情報にふれる」場の設定 → 児童が必然性をもって「問い」を見付けられるようにする。
- 「教える」のではなく、「伴走する」教師の関わり → 総合的な学習の時間だからこそ、失敗から多くのことを学び、やり直すことがしやすい（児童だけでなく教師も）

2 授業の運用

① 教科について

3～6年生は総合的な学習の時間、1・2年生は生活科の学習で取り組む。

※ ひばり学級は学年に準ずる。（生活単元、自立活動で行うことも可）

※ 1・2年生は教科のねらいがあるため、短いサイクルで単元ごとに行う。

② 組織について

学年で実践を行う。

そのため、月に一度ほど、推進部会を開催し、各学年が情報交換を行うことで、よりよい伴走法の獲得や、悩みの共有・解決などができるようにする。年2回の努力点全体会にて、進捗状況を伝え合う。校長・教務は様子を見に行くこともある。

3 年間計画

月	日	曜日	内 容
4	1 5	月	努力点全体会（テーマの設定、生活・総合の単元の計画）
4～5月			生活・総合的な学習の単元の計画
5	1 3	月	努力点全体会（年間計画の検討）
6	1 3	木	努力点推進委員会・学年研究会か研修会
7	1	月	努力点推進委員会・学年研究会か研修会
8	2 9	木	努力点全体会（中間報告会）・学年研究会
9月中			努力点推進委員会・学年研究会
1 0	1 0	木	努力点推進委員会・学年研究会
1 2月中			努力点推進委員会・学年研究会
1	9	木	努力点推進委員会・学年研究会
2	6	木	努力点推進委員会・学年研究会
2	2 0	木	努力点最終報告会・全体会

取組は、6月から行う。4・5月は、関係協力機関の選定、カリキュラムの入替など、実践に向けての準備期間とする。また、1学期から夏休み期間中に講師を招いた学習会を行い、教員も学んでいく。